F成30年度第3次連隊集中野営訓練



車装変換後集結地に向け出発

検問所の構築



駐屯地出発



現地確認をする偵察先発隊長(副連隊長



野ヶ原演習場において平成30年度第3次連隊集中野営訓練を平成30年8月14日(火)から8月17日(金)までの間、青 実施した。

所 行 第3後方支援連隊 第1科 広報 〒664-0014 兵庫県伊丹市広畑1-1 電話 072-781-0021 内線 3403

記事内容

第 1 第第 32 面面

大阪北部地震。平成30年連隊訓練検閲駐屯地納涼行事。平成30年7月豪雨災平成30年第3次集中野営訓練・転入行 定期表彰・成人者紹介・昇任者紹介 第2整備大隊訓練檢閱優秀隊員紹介



整備所天幕の設営

連隊除染隊の認識統・

歩哨壕の構築



る猛暑の中、連隊長西田1佐を核心に、各部師団検閲受閲前の最後の練成の場であり、に実施した。

各部隊、

夏の暑さに

気温35度を越え

演練し、総合戦闘力の発揮の基盤となる練度の向上」を目的本訓練は、「師団陣地攻撃における後方支援連隊の行動を

打克ち本訓練を終了した。

HMG対空用掩体



挨拶をする寺本2佐



歓迎の辞を述べる連隊長

い 第1整備大隊長寺本2佐以下17名が、7年成30年度前期転入行事を実施し、平成30年8月6日(月)、千僧駐屯地 千僧駐屯地に お

僧駐平 地 納 涼

2







千僧駐屯地納涼行事に参加市地南側グラウンドにおい一成3年7月25日(水)、千 のOB及び隊員家族等に参隊は災害派遣中であったが

2018年(平成30年)8月31日

し各地で大きな被害を受けた。雨前線等の影響により、土砂岩平成30年6月28日以降、西口 7 月 9 日 連隊長 土砂崩れや河川の氾濫が発生阵、西日本では台風7号及び梅 以下1 0 5 0

平成30年7月豪雨災害



-ド6.1)の地震が発生。 原北部を震源とする最大震度6弱(マグニチ平成30年6月18日(月)、午前7時58分頃、 の地震が発生。 ュ大

安倍首相が、平成30年6月21日(木)茨木がら26日(火)までの間、入浴支援を実施したに伴う給水支援を実施した。 これ、茨木市若園公園において6月20日(中に伴う給水支援を実施した。 これの間、大阪府吹田 同日から21日(木)までの間、大阪府吹田 同日から21日(木)までの間、大阪府吹田 で |公園で入浴支援活動を視察した。 いて発生した断水大阪府吹田市、 茨木市若 した。 水 水







1/ 成30 検閲

)た。本検閲は、師団の陣地攻撃における各部隊の行動を主要検閲項目とし実施本検閲は、師団の陣地攻撃における各部隊の訓練検閲を実施した。 おヶ原演習場において、輸送隊及び衛生隊の訓練検閲を実施した。 平成30年 5月29日(火)から6月1日(金)までの間、千僧駐屯地及び青平成30年 5月29日(火)から6月1日(金)までの間、千僧駐屯地及び青

. 衛 生 一隊長以 ·下各部隊の幕僚が人員点検及び車両点検を実 |南側グラウンドにおいて実施した隊容検査で 準備の万全と士気の高さを確認した。3幕僚が人員点検及び車両点検を実施よいとにおいて実施した隊容検査では、 「任務を完遂せよ」 「安全管理」を要望事項に掲げ本検閲を受「任務を完遂せよ」「安全管理を徹底せよ 輸送隊長並 各隊員は適り 党を受閲

多種多様な任政情築、対遊撃活

を完遂させ本検閲を終了した。動、対空警戒など基本基礎に心掛け、状況が推移するなか、多種3夜4日の連続状況間、受閲部隊は指揮所の開設や掩体構築、









ガス検知をする隊員(輸送隊)

抵抗陣地の構築(輸送隊)



輸送隊





大隊長褒章 大隊長褒章 練検閲 (5月24日 S 26 日

| 大阪最大任褒章 | 大阪最先任褒章 | 1曹 河合毅 | 1曹 河合毅 (運用訓練陸曹) (火器整備手) (施設機械整備陸曹

大隊長褒章 第2次大隊訓練検閲 (8月19日~22 日

大隊 **八隊最先任褒章**士長 中島嶼秋 小石澤勇輝田嶋秋歩(は (火器整備

古垣孝 (施設機械整備手) 第4級賞詞

中芝

成

者紹

介(9月~12

月

定 期 彰

表

昇

任

者

紹

第3級賞詞(任) 退長表彰 務遂

師団

2 1 3 2 2 **遂** 佐尉佐佐佐**行** 浦林奥坂大川 野田江

拓哲裕由健 也也介紀太郎

ポ2 整 体 へ

奥

野

裕 介

本部付隊 不 4 級賞詞

22322222222曹2**逐** 尉曹曹曹曹曹曹曹尉尉曹曹長曹**行**

鄉吉永中森宇佐賀髙桃田深岡梁井塚山田都久原山井形川本地

衛輸補第第第第本本本本本等衛輸補第第第第 生送給2221部部部部部**陸**生送給2211 隊隊隊整整整付付付付付曹隊隊隊整整整整 備備備備隊隊隊隊隊 大大大大 隊隊隊隊

2 2 衛本補新 2 補衛 2 2 2 整整生付給教整給生整整整 大大隊 隊 _至大隊隊大大大

1

1 士 1 1 1 1 士長士士士士

(整備) 2

2 池福林川池士福紺高宮小眞田井 越田 井野山前石田

尚照貴悠勇川貴敦拡友勇勇 哉 美生輝仁斗暉樹哉輝也 華 哉

12 12 12 12 11 11 10 10 10 10 9 月月月月月月月月月月月月 25 20 19 11 25 24 25 20 15 11 12

888888888888

1

士士 士

士

松宮定野長岩河塚永池田中 尾村國崎谷田合副田口浦野 Ш

博直孝光和匡克裕憲貴勝進文樹宣義典宏章樹史彦裕一

連

隊

内

異

動

者

衛輸本本副 生送部部連 隊隊付付隊

清川東藤坂家野 本田

尉曹士曹佐

付整大からを表大から

らららら

野 本田1112

隊隊長

2

陸曹長 R2整備·

大 隊

小

林

毅

森 川 佐 大 那 久 寺 田 東 藤 東 須 保 井 信 和 光 光 伸 進 剛 俊 人 弘 一 平 一 出船田渡 家口 口引邊邊

貴 宙 龍 英 人 一 寛

濱 武 高 水 渡 藤 藤 田 田 橋 口 辺 田 井

一 将 暢 貴 泰 雅 真 樹 弘 行 夫 輔 一二

2 輸 2 2 1 2 補 2 整 送 整 整 整 絡 整 大 隊 大 大 大 大 隊 大 退 波河伊三橋小佐細多津藤枝本野藤尾 職 野曹11准112曹長曹曹尉曹曹曹 定者

10 10 10 9 9 月月月月月月月月23 15 14 8 28 21 18 并 1 日日日日日日 日 日

3 等補補補 **陸**給給給 曹隊隊隊

藤三黒山中堀金福大 田木瀬村尾井桝原金

飛 芳 直 悠 眞 一 結 将 加 鳥 峻 希 嗣 虹 樹 花 太 奈

池中遠村崎田高西 田山矢津山形月浦

和真訓一裕俊美博 也一明平史行沙昭

往 来 紹 介 ഗ

転

者

浜

衛衛輸補補第第第第第第第第第第第第第 生生送給給222222211 隊隊隊隊隊整整整整整整整整整整整整整整 1 1

32士士332曹2133士士士3曹佐長長曹曹曹長尉尉佐佐長長長曹 1232±±33 3 黑竹湯寺瀧島木東植野坂森岩富本髙吐濱冨松西寺崎田之田口崎宮堤木口下山崎樫村平 田田川本本

直招啓友拓明み順史賢直裕知祐真洋悟昌樹 貴宏也仁ゆ恒紘一大之奎介人平 義 子良

1 西千北 7 開 12 4 4 4 12 東富中 中阪兵10陸444 庫 後 装 3付(大久保)2(練馬) (大津) (大津) (大津) (大津) 院院本 (相馬原 (久里 (富士) ケ

衛衛衛衛補補第第第第第第本本生生生生生給給22221部部隊隊隊隊隊隊隊隊整整整整整付付 正 備備備備備 供大大大大 隊隊隊隊隊隊

2322曹221113323 曹尉尉尉長佐曹曹尉尉佐曹曹尉 中 松 崎 塩 郷 佐 浦 宇 大 木 林 奥 鍋 岩 山 川 本 原 塚 (藤 川 都 橋 戸)野 山 井 口 川本原塚

遥由隆里弥光拓正祐陽哲裕奨洋享 衣朝奈希弘也武里 也介太 祐

3 大37 阪阪2 1 1 姫8 中中大方領 1 年 8 中中方方後 0 後路 6 大多 1 年 8 中方方後 6 大多 1 年 8 中方方後 6 大多 1 年 8 中方方後 6 千 8 中方方後 6 千 8 中方方後 6 十 8 中方方线 6 十 8 中方分析 6 中分析 6 中 信(川西) 熊丹桂南 恵庭

ケ

浦

出 者

転